

事業所名		すまいる・ピア				公表日		2026年1月21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	0	机の配置や各自の持ち物の収納など定期的に見直され、限られたスペースを有効に活用しようとしている。	体を動かせる場所がもう少しあればいいと思う。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	0		送迎に出る時間帯に職員の出入りがあるので、もう少し（職員が）増えたらよいと思う。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2	玩具の片付け方の写真、帰宅前のチェック項目を文字とイラストで掲示するなどの視覚支援を行っている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	消毒や清掃を心がけている。	机が置いてある場所が暗い。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	現状の施設では難しいが、こどもの特性を考えて場所を分けたり、座る席を工夫したりしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1		子どもたちが来所する前に打ち合わせをしており、意見を出し合っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		保護者様からの評価を全職員で共有し、評価や意見を真摯に受け止め、業務改善に活かしていきたい。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	日々の打ち合わせの中で、問題点があれば意見を出し合い業務改善に活かされている。日々、支援前に打ち合わせを行っている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		外部評価が行われているかどうか知らない。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	職員が理解しておかなければならない内容をその時の状況に応じて講習したり、確認し合ったりする時間を作っている。 強度行動障害、発達障害について、マナー・接遇についての研修を受講した。				
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	3	年に一度の見直しを行っている。	取り組みが始まった令和6年度より、作成し公表しています。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0	見学や保護者の方との面談時に丁寧に話を聞き、デイサービス計画の作成につなげていると思う。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	現状の施設では難しいが、こどもの特性を考えて場所を分けたり、座る席を工夫したりしている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	2		作成した放課後等デイサービス計画を、職員間でさらに情報共有し、よりよい支援を行いたい。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	全利用者の支援計画に対して、本人支援、家族支援、移行支援、地域支援・地域連携に関する支援目標を立てている。				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	3		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・子どもの実態に応じ、柔軟な対応がされている。 ・子どもたちが興味を持ちそうな活動について話し合いを行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	個別・集団の2つの活動時間をしっかりと区切り、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	・打ち合わせにより、個々の実態・それに応じた支援が話し合われ、充実している。 ・毎日、ミーティングを行い、子どもの情報を共有したり、問題点や活動に関する報告を行い連携をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	3	打ち合わせ内容をノートに記入し、全職員が確認できるようにしてある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	ミスがないようにチェックシートを作ったり、職員間で確認しあうようにしたりしている。	実績につながる記録は漏れなく十分されている。利用者の様子や支援計画の目標に対する利用者の様子もさらに丁寧に記録していきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に一度モニタリングを行い、支援計画を作り直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	1		4つの基本活動を組み合わせながら支援を行っているが、地域交流の活動を今後は積極的にやりたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	1	自由遊び、おやつ選択の場面で自己選択・自己決定の機会が日常的にある。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4		市役所や相談支援事業所との連携は十分にされていると思うが、医療、保育との連携はわからない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	学校行事や下校時刻の情報を確認し、間違いのないように気を付けている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3		まだ卒業生がいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3		児童センターへの外出をしています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	日々の保護者の方とのやりとりや面談時などで話された内容をもとに問題点や今の状況を職員間で共有している。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4			
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	2	入所される際に、担当職員が時間を設けて丁寧に説明している。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	2		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	適切に相談に応じ、不安や悩みを汲み取り対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4		父母の会の活動はないが、そういう機会を設けることも考えていけたらと思う。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	苦情に対しては、すぐに話し合い同じことを繰り返さないように対策を考え、職員1人ひとりが意識を徹底して安心してもらえるようにする。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	個人名がある書類に関しては、必ずシュレッダーをかけて処分している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3		地域のまつりに出展している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3	マニュアルを常に目につく所に掲示したり、保管して確認できるようにしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	3		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	2		予防接種については、確認していない。確認する必要があるかどうかを、今後検討したい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4		該当者がいない
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	3		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	3		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2			